

昭和二十三年十月十日  
 死亡者調査表  
 昭和二十三年十月十日  
 比呂部

# 死亡者調査表

昭和二十三年十月十日  
 比呂部

所屬部隊 國有自動車隊 威田一四  
 職階 上等兵 死亡時年齢 20  
 死亡年月日 昭和二十三年十月十日  
 死亡場所 比呂部  
 死亡原因 山岳墜落  
 死亡直前の状況 ナシ

本籍地 同  
 親族 妻 石  
 死亡年月日 昭和二十三年十月十日  
 死亡場所 比呂部  
 死亡原因 山岳墜落  
 死亡直前の状況 ナシ

現任住居 右現認す  
 配属部隊 比呂部 四一四部隊  
 姓名 威田一四  
 氏名印 [印]

見所及経理の入手料資  
 右現認す  
 威田一四 死亡者名表  
 受領 遺言 財産  
 公報 第一番

決 判  
 官 官 官 官  
 級 級 級 級  
 職 職 職 職  
 未歸還 有  
 無 有  
 お 第  
 1223

本表中の注釈の欄以外は第一世係に記入すること  
 記帳上の注意並に原簿は裏面にあり(記帳上の注意をよく読んでから記入の事)  
 不備事項中判明しあるものは各班にて未査すること





Handwritten text along the right margin, possibly a date or page number, including characters like 日, 月, 年, 日, 月, 年, 日, 月, 年, 日, 月, 年.

Vertical column of handwritten text on the right side of the page, containing various characters and possibly a list or record.

Vertical column of handwritten text, partially obscured by a large black redaction mark.

Vertical column of handwritten text, partially obscured by a large black redaction mark.

Vertical column of handwritten text, partially obscured by a large black redaction mark.

Vertical column of handwritten text, partially obscured by a large black redaction mark.

Vertical column of handwritten text, partially obscured by a large black redaction mark.

Vertical column of handwritten text, partially obscured by a large black redaction mark.

Vertical column of handwritten text, partially obscured by a large black redaction mark.

Vertical column of handwritten text, partially obscured by a large black redaction mark.

戰死證明書

一、戰死者本籍地

戸主名 姓 戸主 父

氏名

年 月 日生

二、所屬 個々の隊名

比島 派遣隊 第五〇九 部隊

三、戰死者徵集年 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和 年 月 日 時 分 東京都 中央区 本町

五、戰死現況ノ程度 本 小隊長より直接報告あり

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戰死者時ノ状況ノ概要 隊中 陣亡 敵 占領 中 あり

八、死亡區分 戦死 事由 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他 (上掲ニ於テ不明ナル事項ハ、本證明書裏面に、申立書ニ添付シテ、上掲年月日及上掲地

〇、遺族ノ現住所

戦死者ノ 姓 父

氏名

右ノ通り戦死セラルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所

戦死者ノ 關係

所屬部隊名

兵 姓名

市町村長證明箇所

印

現認證明書

本籍地  
現居所 右同

所屬部隊 陸軍第七六六部隊 (隊)

官階 上等兵  
現任 伍長

徵集後職務 現役 步兵

死亡年月日 昭和二十年五月十日

死亡場所 北島北部ルノ島タクホ

死亡原因 戦死

一 死亡理由又は

一 死亡場所

一 死亡原因

一 死亡年月日

現認事項 昭和二十年五月十日 軍朝若足大服部首通銃創、為

陸軍伍長

昭和二十年四月十日

現任所



(原州)



正氏

孫

住所

2. 遺物

人

昭和二十二年八月二十八日  
石の首昭相 20年5月11日 夜 分ハ多岐旭山に於て  
新込 に依り 物死 せしことを確認す

南ノ航空路ヲシテ三等色 通稱號  
一等兵 死亡後遺骸  
兵糧 兵糧  
昭和二十二年八月二十八日  
一五九二

昭和二十二年八月二十八日

年 月 日生

3. 遺骸書類  
其の地

兵糧

兵糧



石の首昭相

新込

10-1

寫

本籍地

所屬部隊

後集年昭一四

死亡年月日

死亡場所

死亡原因

死亡状況

現認 証 明 書

南方第十二陸軍病院

（成第一〇六三部隊）

陸軍衛生上等兵

昭和二十年五月十一日

北島ルン島クク州

戦病死（赤痢）

ルン島作戦中罹病し身体衰弱し死亡す

右に現認し證明す

昭和二十年一月二十五日

現認者 所屬部隊（通称）南方第十二陸軍病院（成第一〇六三部隊）

現住所

旧職官等級及名 少隊長 陸軍衛生任長

印

107-13

坂 認 証 明 書

本 籍 地

所 屬 部 隊

官 等 級 氏 名

發 病 場 所

受 傷 年 月 日

發 病 死

死 亡 場 所

死 亡 區 分

死 亡 年 月 日

摘 要

石 確 認 し た る こ と を 證 明 す

昭 和 年 月 日

坂 認 証 明 書

官 氏 名 陸 軍 大 尉

成 務 一 七 六 二 四 部 隊

陸 軍 上 等 兵

呂 宋 島 サ ラ ク サ ク 下

昭 和 三 十 年 五 月 十 日

呂 宋 島 サ ラ ク サ ク

戰 死

昭 和 三 十 年 五 月 十 日

呂 宋 島 サ ラ ク サ ク

階 級 係 戦 死 者 時 〇 七 〇

任 職 部 隊

成 務 一 七 六 二 四 部 隊

官 氏 名

陸 軍 大 尉

死亡 前 後 の 階 級

死亡 時 の 階 級

死亡 後 の 階 級

死亡 前 の 階 級

死亡 時 の 階 級

死亡 後 の 階 級

204-1102



抄

097

本籍地	所属部隊	官等職氏名	發病場所	受傷年月日	傷病死	死亡場所	死亡區分	死亡年月日	備考
[Redacted]	威美第七六四部隊	陸軍中尉 長	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	呂宋島 サラクサク	戦死	昭和十年五月十一日	追討戦の直衝を蒙り、 戦死したることを證明す 昭和十年五月十一日 現職者
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	階級は死する時のもの

現住  
所  
威美第七六四部隊  
官氏名 陸軍中尉

現職者  
昭和十年五月十一日

097

214-11

本籍地  
[Redacted]  
[Redacted]  
[Redacted]  
[Redacted]  
[Redacted]

現住所  
右ノ村  
[Redacted]  
[Redacted]  
[Redacted]  
[Redacted]

所属部隊名  
比島旅団 第九五九部隊

官等級武官  
陸軍軍曹

一死亡年月日  
昭和二十年五月十一日

一死亡場所  
比島フランシ洲 雨之沢 [Redacted] (大佐命名) 山の中

一死亡事由  
マラリヤ

(發病年月日及病名)  
昭和二十年三月廿日 救護班に收容サル 爲此マラリヤ

右ノ通り 叙 病 死  
シタル事ヲ現認ス

本籍地  
[Redacted] 縣

現住所  
[Redacted] 縣

所属部隊  
比島旅団 第九五九部隊

元職官氏名印  
陸軍衛生軍曹

記帳上ノ注意  
一死亡事由 何々賞勳(種) 創ラ受ケ死ス或ハ「マラリヤ」「シブス」  
(詳 説 例)ニ 右手邊ノ下ニ 叙死、戦傷死、戰病死ヲ 右邊ニ 叙リ 該營 營長マ 記入ス

死亡事實現認



本籍地 [Redacted]

現住所 栃木 [Redacted]

所属部隊 第四三八部隊 (死八 [Redacted] 隊)

徵集年 昭二六 氏名 [Redacted] 官等級 陸軍中尉

右ノ者昭和三十年五月十日 時

分隊<sup>北</sup>州ニ於テ爆撃ニ依リ戦傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和 年 月 日

所属部隊 第四三八部隊 職名 計董長

氏名 [Redacted] 官等級 [Redacted]

注意：一、死亡地點、受傷部位、病名等判明多クキノハ詳記ス  
二、職名中、小隊長、砲手、機銃手等ト詳記ス

25-10



三十一  
六

昭和二十一年十一月二十一日  
昭和二十一年十一月二十一日

所屬部隊 固有部隊名  
三ノ宮衛司令部特別道路工作隊

通稱 號名

官等級氏名(死亡前)

學生

本籍地

現住所

右ノ者昭和二十年五月十二日午後十時〇〇分

シタルハ此地ニ於テ 歎病死シタルコトヲ證明ス

昭和二十一年十一月二十一日

固有部隊名 三ノ宮衛司令部 塙 純

通稱 號名

本籍地

職官等級氏名印

此ノ者トシテ周知

「同僚」

戰死證明書



姓名 [Redacted] 年 月 日生

一、所屬部隊名 陸軍第三師團 第二〇四部隊  
二、戰死者服役年 昭和十七年  
三、戰死年月日時及場所 昭和二十一年五月十日 北支那 河北省 保定府 保定縣 保定府 保定縣 保定府 保定縣  
四、戰死現狀(遺體) 現狀不明  
五、遺骨歸還(有無) 遺骨未歸還

七、戰死者時之狀況 概要  
昭和十七年五月十日、北支那 河北省 保定府 保定縣 保定府 保定縣 保定府 保定縣  
八、死因 不明

九、其他 不明

十、遺族(現任所) [Redacted]  
戰死者ノ遺族(母) 氏名 [Redacted]

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也  
昭和二十二年二月二十五日

證明者(在任所) [Redacted]  
關係 [Redacted]  
所屬部隊名 陸軍第三師團 第二〇四部隊  
兵種 步兵 官等 陸軍中尉  
氏名 [Redacted]

證明書(證明) [Redacted]

185-10  
第...



死亡補綴證明書

一死亡者所属部隊名 固有名 船五天第三十三號兼  
 徵集年(任官年)役種 兵種 昭和十九年徵集 船  
 死亡者不詳地 [Redacted]

一官等級一級令年月日 死亡時年齢 一級令年月日昭 (死亡後補綴)

一氏名 [Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日 [Redacted]

一死亡年月日時場所 [Redacted] 昭和十九年五月十日 午後四時 分 東京

一死亡原因 [Redacted] 下野式ガソリン 毒

一死亡場所 [Redacted] 在りては傷病名及び受傷

一遺留品 [Redacted] 昭和十九年五月十日 本人既及び近親者の状況

右補綴證明書 元所属部隊名 此 為 旅 団 第 一 七 七 四 部 隊

現 在 所 [Redacted]

元官等級氏名 佐 藤 源 次 郎

昭和十九年五月十日 佐藤 源次郎 昭和十九年十一月十日 署名 佐藤

右原本と相違無き事と證明 教育民生部世話課長



死凶者 覽 書

面有若無... 官等...

名 區分事 由場所 年月日時

種... 本... 留...

某 戰死 頭部... 比島 20 7 30

甲... 何...

某 戰死 頭部... 比島 20 7 30

甲... 何...

某 戰死 頭部... 比島 20 7 30

甲... 何...

某 戰死 頭部... 比島 20 7 30

某 戰死 頭部... 比島 20 7 30

某 戰死 頭部... 比島 20 7 30

現認證書

新部隊

步兵第十七聯隊第三大隊 方十一中隊

徵集年昭和十六

官署設 式 陸軍部 長

昭和二十年 五月十日

昭和二十年 五月十日 東方百ロキロ地上矣

昭和二十年 五月十日 腹背部貫通銃創

昭和二十年 五月十日 戦死 戦時ニオシテ 戦斗ニ参加シ 敵陣ニ

昭和二十年 五月十日 戦死 戦時ニオシテ 戦斗ニ参加シ 敵陣ニ

昭和二十年 五月十日 戦死 戦時ニオシテ 戦斗ニ参加シ 敵陣ニ

昭和二十年 五月十日 戦死 戦時ニオシテ 戦斗ニ参加シ 敵陣ニ

昭和二十年 五月十日 戦死 戦時ニオシテ 戦斗ニ参加シ 敵陣ニ

昭和二十年 五月十日 戦死 戦時ニオシテ 戦斗ニ参加シ 敵陣ニ

昭和二十年 五月十日 戦死 戦時ニオシテ 戦斗ニ参加シ 敵陣ニ

昭和二十年 五月十日 戦死 戦時ニオシテ 戦斗ニ参加シ 敵陣ニ

昭和二十年 五月十日 戦死 戦時ニオシテ 戦斗ニ参加シ 敵陣ニ

昭和二十年 五月十日 戦死 戦時ニオシテ 戦斗ニ参加シ 敵陣ニ

昭和二十年 五月十日 戦死 戦時ニオシテ 戦斗ニ参加シ 敵陣ニ

108-11

死亡日期

死亡原因

徵集年役

官

氏

死亡日期

死亡原因

徵集年役

官

氏

死亡日期

死亡原因

徵集年役

官

氏

國有...

徵集年...

死亡...

氏...

死亡...

死亡...

徵集年...

官...

氏...

死亡...

死亡...

徵集年...

官...

氏...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

補充...

(一)



姓名	所属部隊	兵種	現職	死亡年月日	死亡場所	死亡状況	現職
[Redacted]	野戦獨立隊	兵種不明	[Redacted]	昭和二十年五月十三日	北島	戦傷	[Redacted]
28-11							

不明、箇所不明、記入の度

現認(死亡)証明書

昭和三十年九月十二日  
地方世話部

22.9.22

15-12

所屬部隊	固有姓名	比島渡邊成九	品部	通稱
年集附	昭和	復役	兵	飛行
死亡年月日時	昭和三十年五月十四日	午前	午後	死亡
死亡區分	戦死	傷病名	迫撃砲弾創	
發(受)病(傷)年月日	昭和三十年五月十四日	准士官以上	任官年月日	
死亡時	午前	死亡場所	北部ルウノ島イムガン	
死亡時	午後	遺留品	遺骨	
死亡時		遺留品	遺骨	
死亡時		遺留品	遺骨	

右證明候也

昭和三十年九月十二日

比島渡邊成九

現任所

殿

[Redacted]

[Redacted]



陸軍

本籍地

少尉

歩兵第...

固有...

特設機關砲第三中隊

通稱号

砲第一七六四七部隊

昭和二十年四月二十九日、シンガポール島、オランダ市附近に連戦するに米軍と交戦中昭和二十年五月十四日新田隊長と夜突撃加、頸部腹部貫通

銃創により戦死す

遺骨は死亡地に埋葬す

遺留品なし

特設機關砲第三中隊

陸軍曹長







# 死之證明書

要

項

記

載

事

項

1. 死歿者の本籍地 留年担当者  
續柄氏名

2. 死歿者の所属部隊 死亡當時の  
官 等 級 氏 名

3. 死亡年月日時  
(記憶が確實でない時は上中下句と)

4. 死亡場所  
(或るべき詳細を)

5. 死亡の原因  
1. 戦死の場合は何れによるか 何處  
を負傷し、いつか

2. 戦傷死の場合何れの時何れ  
を何處を、負傷し、その後何々  
病院に入院し何處で死んだか



所属部隊 (固有名) 二二六中隊 大  
通称 威八四五部隊

2. 官 等 級 氏 名 上 士 兵

昭和三十一年五月十五日

上島バヤオ

敵飛行機の爆撃に  
戦死 (爆死)

7-12



6. 死亡を現認したか。他人からも聞いたか。その状況を具体的に

何と現認

7. 遺骨、遺留品について知っている事

事

8. 死亡當時本人はどんな任務に服して居たか

陣地警備

9. 死亡者と本人とはどんな関係にあるのか

警備中隊

と相違ないことを証明する

昭和三十三年十月三十日

現住所

元所屬部隊官等氏名 兵長

印